

高浜市やきものの里かわら美術館に係る
サウンディング型市場調査の結果について

高浜市やきものの里かわら美術館に係る市場性及びさらなる有効活用に関して、今回、民間事業者の皆様から、幅広くご意見・ご提案をいただく「サウンディング型市場調査」を実施しましたので、結果の概要を公表します。

1 サウンディング型市場調査の経過

- 実施要領の公表：令和2年5月7日（木）
- 調査の申込：令和2年5月7日（木）～5月21日（木）
- 調査の実施【3団体】：令和2年6月10日（水）・11日（木）・12日（金）

2 参加者からの提案・意見等の概要

(1) かわら美術館の市場性について

以下のとおり、要望及び意見がありました。

①現下の状況の中、管理運営の受託の可能性について

- ・今年度公募をかけても、参加表明する企業が少ないのではないか。
- ・より多くの事業者に参加してもらおうという観点でいくと1年遅らせたほうがいいのかもしい。
- ・不透明な時期ではあるが、応募していきたい。

(2) 一般市民や企業等に愛用され、地域に必要とされるかわら美術館を目指すため、既存の枠にとらわれない利用方法等のアイデアを求めています。

以下のとおり、要望及び意見がありました。

①かわら美術館を活用して展開できる事業アイデアについて

- ・多機能な施設を有効に活用する。
- ・企業向けの広報も必要と考える。

②かわら美術館を活用した地域貢献の取組等のアイデアについて

- 貸館サービスは、企業研修や企業のPR展示会などで使っていただく。
- 例えば子育て世代を対象とした企画を行えば、瓦の歴史や瓦産業に馴染みのない、市への新規流入者の参加にもつながる。一人でも多くの市民が来館することは、瓦文化の伝承にも、新たな客層の開拓にも繋がる。
- 市民の集う場所、文化の拠点という役割をつけ足すべき。
- 多世代がコミュニケーションを取るような事業展開が必要ではないか。
- 観光協会、スポーツクラブと連携することも考えられる。
- かわら美術館と森前公園を一体管理したほうがいい。
- 公募したときに、どの設備が悪いのかなど施設の状況を分かるようにしないといけない。設備の状況がわからないと見積が作成できない。
- 学芸員は市職員が一人でもいいので、かわら美術館で指定管理者とともに業務を行ったほうが、市の文化の伝承だけでなく、美術館の維持管理の上でも重要であると考えられる。
- 運営するにあたっては、すべて事業者学芸員も可能である。

③参入にあたっての阻害要因等について

- 常勤のメインの学芸員は、可能であれば市から派遣していただきたい。
- 展覧会の実施数の再検討。
- 高水準の市民サービス・施設運営を担保するため、募集要項に「美術館、博物館、その類の施設を運営したことがあるもの」というのを外さないほうがいい。

(3) 指定管理制度を継続した場合の取組について

以下のとおり、要望及び意見がありました。

①効果的な施設活用等の取組について

- 学芸員の資格を有するものを若干名配置することの項目を緩和していただきたい。

②経費削減効果に対する取組について

- かわら美術館は、美術館だけでなく市民が集うホールやスタジオなどの要素を持っている場所なので、多様性、発展性、継続性があるものと考えられる。
- 自主事業をしっかりと開催し、来客数を増やす。
- 「実現可能な自主事業で収入を確保し、経費削減へ繋げる取組」に対して、評価点を加点していただきたい。

③その他

- 指定管理期間は、5年間の施設が多い。
- 大規模改修の予定があるならば、それは公開したほうがいい。収支の設計に影響がある。
- 休館日を見直してはどうか。

3 今後の予定

今回のサウンディング型市場調査の結果を参考に、やきものの里かわら美術館の次期運営方法及びさらなる有効活用を図るための取組を検討してまいります。

また、本調査にご参加いただきました事業者の皆様方には、厚くお礼を申し上げます。

担 当	高浜市 文化スポーツグループ 平川
電 話	0566-52-1111 (内線 300)
メー ル	bunka@city.takahama.lg.jp